

Canon

BINOCULARS

10×42 LIS WP



IMAGE STABILIZER

JPN

使用説明書

キャノン製品のお買い上げありがとうございます。

BINOCULARS 10 × 42L IS WP は、独自開発のバリアングルプリズムによる手ブレ補正機能を搭載した、高性能・防水双眼鏡です。

ご使用になる前に、この使用説明書をお読みになって理解を深め、正しくお使いください。

主な特長

- 野鳥観察から天体観測まで、幅広い状況に対応する高性能・防水双眼鏡です。
- JIS 保護等級 7 級相当の防水性能を備えていますので、降雨中の観察やマリッジジャーでもお使いになれます。
- 手ブレ補正機能により、安定した観察ができます。
- 対物レンズにラバープロテクターを備えていますので、耐衝撃性に優れています。
- 42mm の大口径対物レンズの採用により、きわめて明るい視野が得られます。
- 片側 2 枚、合計 4 枚の UD レンズ、全面多層膜コーティング（スーパースペクトラコーティング）およびダブルット・フィールドフラットナーレンズの採用により、中心から周辺までクリアでシャープな見えを実現しています。
- 不用意な視度ずれを防ぐ、視度調整固定機構を備えています。
- アイカップをお好みの位置に調整できます。
- 密閉構造により、内部のレンズに曇りが発生しにくくなっています。

* UD レンズ：Ultra Low Dispersion/ 低屈折率・低分散特性を備えた光学ガラス製レンズ

本文中のマークについて



故障など双眼鏡に不都合が生じる恐れのある注意事項が書かれています。



基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書かれています。

付属品

当製品には以下の付属品が付いています。

- ケース（予備電池の収納ポケット付き）..... 1
- 双眼鏡用ストラップ..... 1
- ケース用ストラップ..... 1
- 対物レンズキャップ..... 1
- 接眼レンズキャップ..... 1
- 単 3 形アルカリ乾電池..... 2
- ひも（対物レンズキャップ取り付け用）..... 1

安全上のご注意 (ご使用の前に必ずお読みください)

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。お使いになる方と他の人々への危害や損害の発生を防ぐためにお守りください。

⚠ 警告 (双眼鏡について) 死亡や重傷を負う恐れがある内容です。



● 太陽を絶対に見ないでください。 失明の原因となります。

- 双眼鏡を直射日光のあたるところに放置しないでください。太陽の光が焦点を結び、火災の原因となることがあります。
- 双眼鏡や付属品を小さなお子様の手の届くところに置かないでください。
- ポリ袋 (包装用) などを小さなお子様の手に届くところに置かないでください。かぶると窒息することがあります。
- ストラップを誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

⚠ 警告 (電池について) 死亡や重傷を負う恐れがある内容です。

- 製品に使用する電池を乳幼児の手の届くところに置かないでください。また、乳幼児の見ている場所で電池の交換を行わないでください。電池を飲み込むと、化学反応により体内が冒されるため危険です。飲み込んだときは、すぐ医師に相談してください。
- 製品に使用する電池について、次のことをお守りください。発熱、発煙、発火、液漏れ、破裂などがおき、火災やけがの原因となることがあります。
 1. 公称電圧が 1.5V を超える電池や公称電圧が確認できない電池は使わないでください。
 2. 異なる銘柄の電池や古い電池を混ぜて使わないでください。電池は 2 本同時に同一銘柄で新品の電池へ交換してください。
 3. 電池の+と-の向きをまちがえないでください。
 4. 液漏れした電池は使わないでください。
 5. 煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは電池を外してください。
 6. 電池を分解、充電 (充電不可の電池)、高温下での放置、加熱、接点間のショート、火の中への投入など、しないでください。

⚠ 注意（双眼鏡について） 傷害や、製品以外の物的損害を負う可能性がある内容です。

- 双眼鏡を不安定な場所に置かないでください。倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。
- 双眼鏡を歩きながら使用しないでください。衝突したり、転倒したりして、けがの原因となることがあります。
- 双眼鏡のストラップを持って振りまわさないでください。周りの人や物に当たりけがや破損の原因となることがあります。
- 双眼鏡の眼幅合わせの際に、指をはさみけがをすることがあります。小さなお子様が使用する場合には、ご注意ください。
- 破損したときは、破損部分や内部に触れないでください。
- 液体でぬらしたり、内部に液体や異物を入れたりしないでください。
- 製品を高温や低温となる場所に放置しないでください。製品自体が高温や低温になり、触れるとやけどやけがの原因となることがあります。
- ゴム製アイカップの長時間の使用や、繰り返しの使用により皮膚に炎症を起こすことがあります。もし、うたがわしい症状があらわれましたら医師にご相談ください。

⚠ 注意（電池について） 傷害や、製品以外の物的損害を負う可能性がある内容です。

- 本製品を使わないときは、電池を取り外してください。液漏れを起こし故障、汚損、火災の原因となることがあります。
- 電池の液漏れなどで内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。また、液体が付いた手で目や口などをこすらないでください。もし目や口などに入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐ医師にご相談ください。
- 電池を取り外したときや廃棄するときは、電池の接点にテープを貼るなどして絶縁してください。他の金属と接触すると、発火、破裂の原因となることがあります。
- 表示ランプが点灯しても手ブレ補正機能が正常に作動しなくなることがあります。電池の容量が少なくなっていますので、電池を2本とも新品に交換してください。
- 電池容量が少なくなると、手ブレ補正ボタンを押しても表示ランプは点灯しません。電池を2本とも新品と交換してください。

取り扱い上のご注意

- 使用が禁止されている場所では、その指示に従ってください。
- 双眼鏡は精密機械です。強く押ししたり落としたり、強い衝撃や振動を与えないでください。また分解や改造をしないでください。
- 直射日光下の車の中などに本製品を放置しないでください。予想以上に高温になり、故障の原因となることがあります。
- 湿気、油煙やほこりの多い場所で使用、保管をしないでください。湿気の多いところではレンズ面にカビや曇りが生じやすくなります。長期間使わないときは、レンズ表面やボディの汚れをよく拭き取り、風通しの良い、乾燥したところに保管してください。
- この双眼鏡は防水機能を備えていますが、水中での使用はできません。もし双眼鏡に水が付着したときは、乾いたきれいな布で、またゴミやほこり、塩分などが付着したときは、固くしぼったきれいな布でよくふき取ってください。
- レンズおよびボディは、アルコール、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤を使って拭かないでください。レンズが汚れた場合は、最初にプロアーブラシでレンズ表面のゴミ、ホコリを取り除いた後で、レンズを傷付けないように、乾いた柔らかい布で軽く拭いて、汚れを取り除いてください。

* WPは、Waterproofing（ウォータープルーフイング）の略称で、防水機能を備えていることを意味しています。

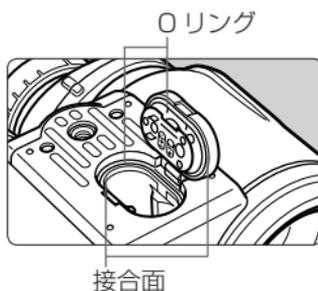
これらの双眼鏡に採用されているすべての光学ガラスには、環境保護の観点から鉛成分が入っていません。

⚠ 防水性を保つために

この双眼鏡は防水仕様となっています。

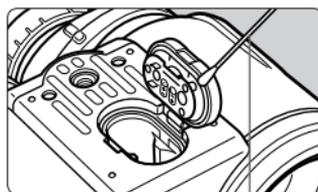
防水性能を発揮するためには、必ず電池室ふたの O リングとその接合面の点検を行なってください。

砂粒や髪の毛などが付着した状態で電池室ふたを閉めると、防水性能が失われ、水分が浸入して故障してしまいます。



1 Oリングを点検する

- Oリング、接合面が変形していたり、ゴミなどが付いていないことを十分確認してください。



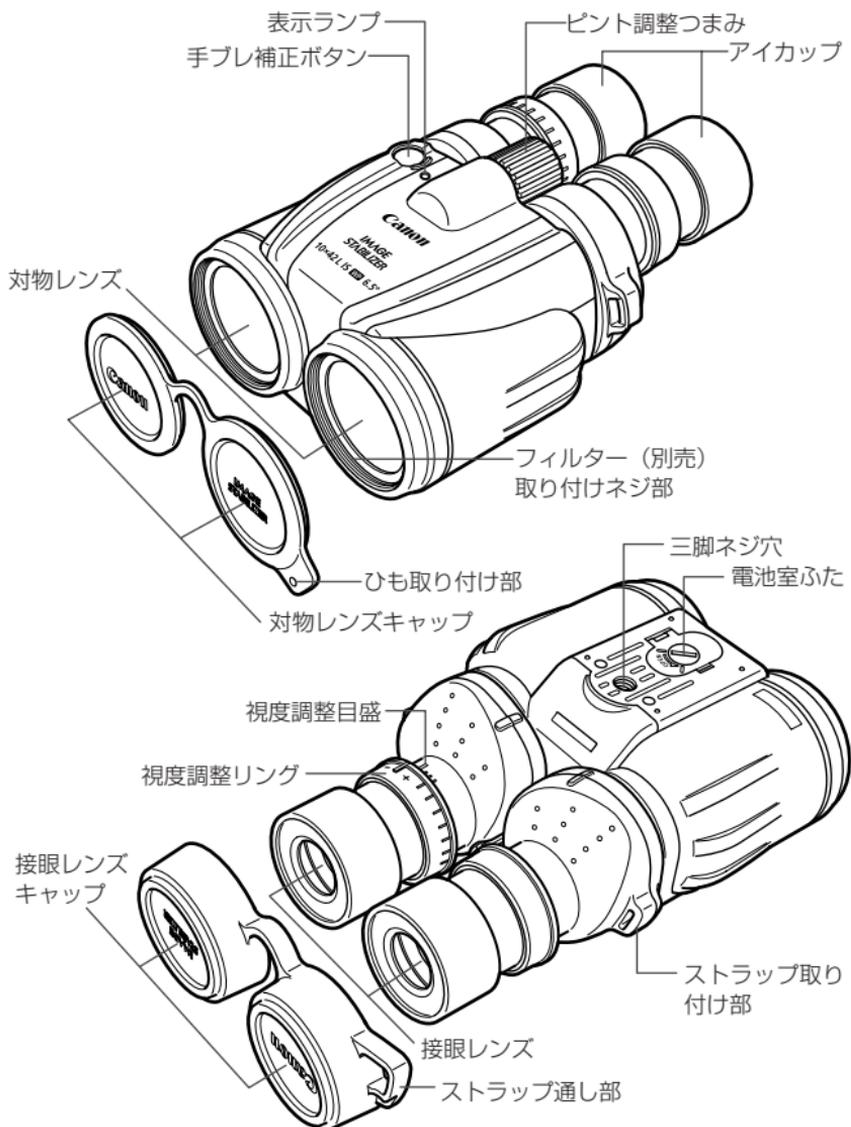
2 Oリングを清掃する

- Oリング、接合面にゴミが付いているときは、湿らせた綿棒などで、Oリングに付いたゴミを取り除いてください。



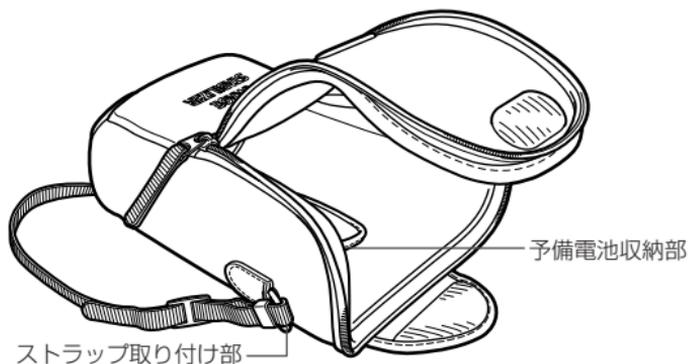
- Oリングを無理に引っ張ったり、広げたりしないでください。
- Oリングは特殊加工されていますのでグリスを塗ったり、オイルが付かないよう注意してください。
- Oリングを外さないでください。傷がついて水漏れの原因となります。
- Oリングが切れたり、傷、変形がある場合や、ご購入後 2 年を過ぎた場合はキャノンサービスセンターにお持ちになり、新しいものと交換してください。また Oリングは 2 年ごとの交換をおすすめします。(有料)
- 砂、ホコリなどが付きやすい環境で使用するときは、Oリングを 1 年ごとに交換することをおすすめします。

各部の名称



フィルター取り付けネジ部には、52mm フィルター（別売）を取り付けることができます。

ケース



ケースには、付属のケース用ストラップを取り付けてご使用ください。

レンズキャップの取り付け方



対物レンズキャップを取り付ける

- フィルター取り付けネジ部に押し込むように取り付けます。



接眼レンズキャップを取り付ける

- アイカップに被せて取り付けます。

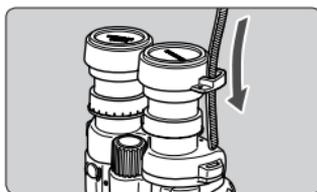


双眼鏡を使用するときなど、接眼レンズキャップと対物レンズキャップは、重ねて収納することができます。接眼レンズキャップに対物レンズキャップを押し込むように取り付けます。



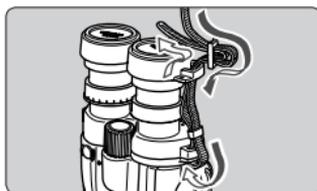
ストラップを取り付ける

ストラップは、首に掛けやすい形になっているため、取り付けの向きが決まっています。ストラップを首に掛けたとき、ストラップ中央の「Canon」ロゴが図の向きになるように取り付けます。



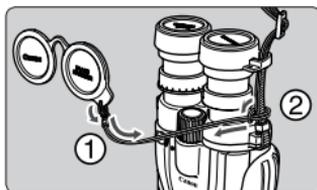
1 接眼レンズキャップを取り付ける

- 接眼レンズキャップを双眼鏡に取り付けます。
- 接眼レンズキャップのストラップ通し部に、ストラップを通します。



2 ストラップを取り付ける

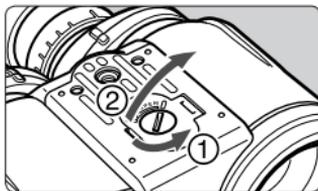
- 止め具の部分にたるみがないことと、ストラップを引っぱっても止め具の部分でゆるまないことを確認します。



3 対物レンズキャップをつなぐ

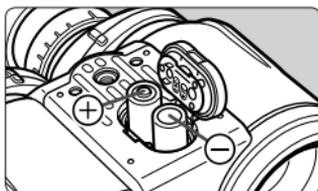
- 付属のひもで、対物レンズキャップとストラップをつなぎます。

電池を入れる



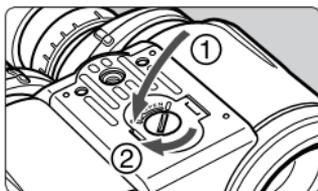
1 ふたを開ける

- 硬貨などを利用してロックねじを矢印方向に 90° 回してゆるめ、電池室ふたを開けます。



2 電池を入れる

- 電池室ふたの表示にしたがって「+」「-」をまちがえないよう電池を 2 本入れます。



3 ふたを閉める

- 電池室ふたを押さえながら、ロックねじを締めます。

使用電池と連続使用時間

	25℃	- 10℃
単 3 形リチウム電池	約 8 時間	約 3.5 時間
単 3 形ニッケル水素電池	約 6 時間	約 2.5 時間
単 3 形アルカリ乾電池	約 2.5 時間	約 10 分

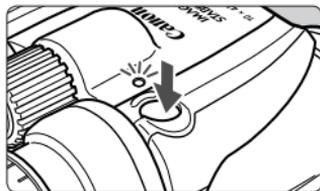
(当社試験条件による)

- 単 3 形マンガン乾電池は、電池容量が少ないためおすすめできません。



- 電池交換は、双眼鏡に水分や汚れがなく、乾燥した状態で行ってください。
- 電池室ふたの内側や電池室内に水分が付かないように注意してください。水分が付いたときは、必ず水分を取り除き、十分に乾燥させてから電池交換を行ってください。
- 電池に水分が付くと、電池が液漏れを起こして故障の原因となります。

使用前の準備



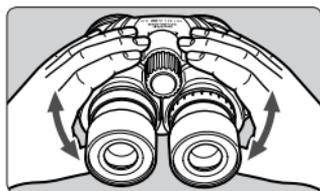
1 表示ランプの点灯を確認する

- 手ブレ補正ボタンを押して表示ランプが点灯することを確認します。



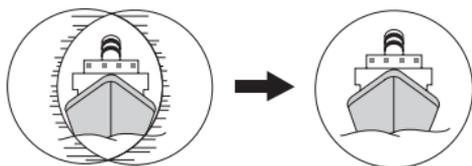
2 アイカップの位置を調整する

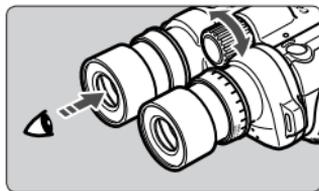
- 眼鏡をかけたまま双眼鏡を使用するときは、アイカップを回転させて、のぞきやすい高さに調整します。



3 接眼部を眼の幅に合わせる

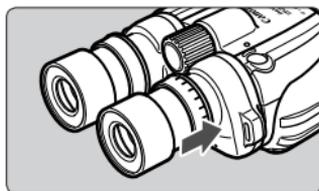
- 双眼鏡をのぞき、左右の視野が重なるまで接眼部の角度を調整します。
- 性能を十分に引き出し、目の疲労を少なくするためにおこないます。
- 接眼部と眼の幅を合わせるときは、できるだけ遠くのものを見ると合わせやすくなります。



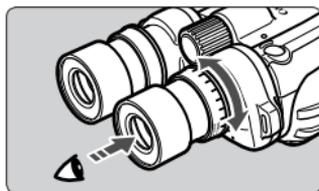


4 視度を調整する

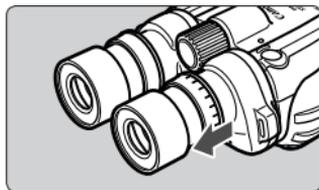
- 左眼だけでのぞき、目標物がはっきりと見えるまでピント調整つまみを回します。



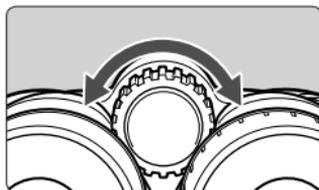
- 視度調整リングを矢印の方向にカチッと音がするまで押し込みます。



- 右眼だけでのぞき、ピントを合わせた目標物がはっきりと見えるまで視度調整リングを回します。



- 視度調整リングをカチッと音がするまで手前に引き、視度を固定します。



5 ピントの調整をする

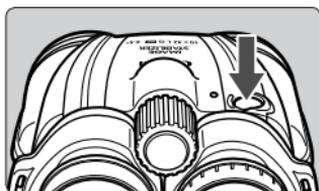
- 双眼鏡をのぞき、目標物がはっきりと見えるまで、ピント調整つまみを回します。

 ピントの調整範囲は約 2.5 m～無限遠です。なお無限遠側には若干の余裕が設けてあります。

手ブレ補正機能の利用

双眼鏡を構えて目標物を見ているときに、手ブレにより像がゆれて、見にくくなることがあります。その場合、手ブレ補正機能を使用すると像を安定させることができます。

手ブレ補正機能は、手ブレ補正ボタンを押し続けている間だけの作動と、5分間の連続作動の2種類を選択することができます。



■ ボタンを押し続ける間だけの作動

手ブレ補正ボタンを押し続けると、その間だけ手ブレ補正機能が作動します。

ボタンを離すと停止します。

■ 5分間の連続作動

手ブレ補正ボタンをゆっくり押し、すぐに指を離すと、手ブレ補正機能が約5分間連続作動します。

途中停止するときは、再度ボタンを押します。

- 手ブレ補正機能が作動している間は、表示ランプが点灯します。

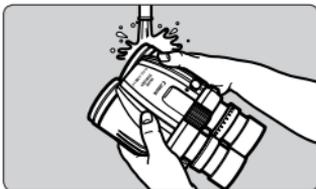


- 体ごと大きくゆれる場所や手ブレが大きすぎると、手ブレが十分に補正されないことがあります。
- 三脚などに固定した場合は、三脚使用时特有の小さなブレを補正するようになります。
- ストラップで吊り下げた状態など、下向きの状態が10秒以上続いたときは、電力を節約するため手ブレ補正が停止します。下向きで観察するときは、手ブレ補正スイッチを押し続けてください。
- 電池が消耗すると異音と振動が発生する場合がありますが、手ブレ補正機能に支障はありません。
- 電池が入っていない状態でも、通常の双眼鏡として使用できます。

お使いになった後は

砂や泥が付いたときは、以下の手順に従って双眼鏡を水洗いしてください。

- 水洗い中は、絶対に各操作部を動かさないでください。可動部から水が入り込み、故障の原因となります。
- 水洗いをする前には必ず電池室ふたが閉まっていることを確認してください。
- 水洗いに使用する水は 30℃以下の水道水を使用してください。



1 流水で洗う

- 手を洗う程度の流量の水道水で、双眼鏡表面に付いたゴミ、泥、砂などを洗い流します。
- 汚れたままの対物レンズ、接眼レンズをこすらないでください。



2 浸して洗う

- バケツなどに入れた水に双眼鏡を浸し、ゴミ、泥、砂などがよく落ちるよう双眼鏡を軽くゆすりながら洗います。
- 海水が付いたときは、塩分を取るため 1～2 時間程度、双眼鏡を浸しておきます。



3 双眼鏡を拭く

- 清潔で乾燥した柔らかい布で、双眼鏡の水気をふき取ります。
- 各操作部の隙間に水気が残る場合がありますので、乾燥した柔らかい布の上に双眼鏡を置き、陰干しして、十分乾燥させてください。
- 乾燥後、レンズを市販のレンズクリーナー液などで清掃してください。

- ❗ ● 故障の原因となりますので洗剤や熱湯、強い流水で洗わないでください。
- 双眼鏡を振り回して水切りしたり、ドライヤーなどで強制的に乾燥させたり、洗濯機などで洗わないでください。
- 汚れがひどいときや砂が多量に付いたときは、キヤノンサービスセンターへご相談ください。

「故障かな？」とお考えになるまえに

「故障したのかな？」と考えるまえに次の表を参考にして双眼鏡をチェックしてください。それでも症状に変化がなければ最寄りのキャノンサービスセンターにお持ちください。

症 状	原 因	解決方法
像が明瞭に見えない。	レンズが汚れていませんか？	プロアブラスシでレンズ表面のゴミ、ホコリを取り、市販のレンズクリーナー液などで清掃してください。
	接眼部を眼の幅に合わせていますか？	接眼部を眼の幅に合わせてください。 (JPN-10 ページ参照)
	視度調整してありますか？	視度調整してください。 (JPN-11 ページ参照)
	ピント調整していますか？	ピント調整してください。 (JPN-11 ページ参照)
手ブレ補正機能が作動しない。	電池は入っていますか？	電池を入れて、電池容量が十分か確認してください。
	手ブレ補正ボタンを押すと表示ランプは点灯しますか？	点灯しないときは電池が消耗しています。電池を新品に交換してください。
	電池容量は十分ですか？	表示ランプが点灯しても、電池が消耗していると手ブレ補正機能が作動しないことがあります。電池を新品に交換してください。
	双眼鏡が下向きになっていませんか？	下向きの状態が 10 秒以上続いたときは、電力を節約するため手ブレ補正が停止します。下向きで観察するときは、手ブレ補正スイッチを押し続けてください。
手ブレ補正機能作動時に双眼鏡を大きく振ると異音がする。	電池が消耗しています。	電池を新品に交換してください。

主な仕様

	10 × 42L IS WP
型式	プリズム双眼鏡
倍率 (倍)	10
対物レンズの有効径	42mm (52mm フィルター取り付け可能)
実視界	6.5°
見かけ視界 / 1,000m での視界	59.2° (ISO14132-1 : 2002 に基づく表記) / 114m
射出瞳径	4.2mm
アイレリーフ	16mm
目幅調整範囲	57 ~ 75mm
焦点調整範囲	約 2.5m ~ ∞ (無限遠)
手ブレ補正方式	バリアングルプリズムによる光学補正式
手ブレ補正角度	± 0.8°
バッテリーチェック	表示ランプ (LED) の点灯
作動保証環境	温度 : -10°C ~ +45°C / 湿度 : 90%
大きさ (W × L × H)	約 137 × 176 × 86 mm
質量	約 1110g (本体のみ、電池を除く)

※都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

修理対応について

1. 保証期間経過後の修理は、原則として有料となります。なお、運賃諸掛りは、お客様にてご負担願います。
2. 本製品の修理対応期間は、製品の製造打切り後 10 年間です。
なお、弊社の判断により修理対応として同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことがあります。

キヤノン双眼鏡ホームページ：canon.jp/binoculars

キヤノンお客様相談センター：**050-555-90001** (直通)

受付時間〈平日/土〉9:00 ~ 17:00

(12月31日から1月3日は、休ませていただきます。)

※ 海外からご利用の方、または 050 からはじまる IP 電話番号をご利用いただけない方は 043-211-9883 をご利用ください。

※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Canon